

平成 14 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ フ ア ン ド エ ム  
( コ ー ド 番 号 4 7 7 1 N J )  
本 社 大 阪 府 吹 田 市 江 坂 町 1 - 2 3 - 3 8  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 森 中 一 郎  
問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 杉 浦 友 泰  
T E L 0 6 - 6 3 3 9 - 7 1 7 7

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 14 年 9 月中間期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)及び平成 15 年 3 月期通期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)の業績予想につきまして、平成 14 年 8 月 2 日の平成 15 年 3 月期第 1 四半期の連結業績等発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 連結業績予想の修正

( 1 ) 中間期 (平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)

( 単位 : 百万円 )

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 ( A )	1,794	107	65
今回修正予想 ( B )	1,745	11	74
増減額 ( B - A )	49	96	139
増減率 ( % )	2.7	89.7	-
<ご参考> 前中間期実績(平成 13 年 9 月中間期)	1,885	136	23

( 2 ) 通期 (平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)

( 単位 : 百万円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	4,097	406	230
今回修正予想 ( B )	3,684	263	86
増減額 ( B - A )	413	143	144
増減率 ( % )	10.0	35.2	62.6
<ご参考> 前期実績(平成 14 年 3 月通期)	3,733	82	70

## 単独業績予想の修正

(1) 中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	1,679	80	38
今回修正予想 (B)	1,547	2	89
増減額 (B - A)	132	78	127
増減率 (%)	7.9	97.5	-
<ご参考> 前中間期実績(平成13年9月中間期)	1,864	181	55

(2) 通期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,767	283	145
今回修正予想 (B)	3,313	200	56
増減額 (B - A)	454	83	89
増減率 (%)	12.1	29.3	61.4
<ご参考> 前期実績(平成14年3月通期)	3,562	155	124

## 業績修正予想の理由

(1) 連結

中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

中間売上高につきましては、新規事業であるISO支援事業売上高約98百万円(前中間期-百万円)や連結子会社中小企業M&Aセンター売上高約149百万円(前中間期3百万円)などが伸長したものの、景気低迷等の外部環境等の影響もあり、従来の主要事業であるアウトソーシング事業の当中間期末会員数が、30,037人(前期末33,725人)、エフアンドエムクラブ事業会員が4,856社(前期末5,466社)となり、会員獲得が当初計画に比し、不調に終わる結果となりました。

以上が主因となり、当中間期売上高は前回予想を2.7%下回る1,745百万円となる見込みであります。尚、当中間期のアウトソーシング事業売上高は702百万円(前中間期1,100百万円)、エフアンドエムクラブ事業売上高は669百万円(前中間期671百万円)となる見込みであります。

中間経常利益につきましては、コスト削減効果により単独での原価・販管費等の総経費が前中間期に比し132百万円(前中間期比7.9%)減少したものの、連結子会社において成長軌道を加速させるため、人材採用等の先行投資を行ったことに加え、上記売上高修正要因による売上高減少が響く結果となり前回予想を89.7%下回る11百万円となる見込みであります。

中間純利益につきましては、有価証券評価損及び有価証券売却損約37百万円、貸倒引当金繰入額約59百万円発生等による特別損失約110百万円を計上予定のため、74百万円(前回予想65百万円)となる見込みであります。

通期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

売上高につきましては、引き続き新規事業等の伸長や、下期以降のアウトソーシング事業の持ち直しが見込まれるものの、当中間期までの経営成績を主因とし、前回予想を10.0%下回る3,684

百万円に予想を修正致します。

経常利益につきましては、経費削減を下期も進めてまいります。上記の通期連結売上高修正の理由を主因とし、前回予想を 35.2%下回る 263 百万円と予想を修正致します。

当期純利益につきましては、当中間期に計上予定の有価証券評価損及び有価証券売却損を考慮した結果、前回予想を 62.6%下回る 86 百万円に予想を修正致します。

## ( 2 ) 単独

中間期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

上記の中間連結予想修正の理由を主因として、中間売上高は前回予想を 7.9%下回る 1,547 百万円、中間経常利益は前回予想を 97.5%下回る 2 百万円、中間純利益は 89 百万円 (前回予想 38 百万円) にそれぞれ修正致します。

通期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

上記の通期連結予想修正の理由を主因として、売上高は前回予想を 12.1%下回る 3,313 百万円、経常利益は前回予想を 29.3%下回る 200 百万円、純利益は前回予想を 61.4%上回る 56 百万円にそれぞれ修正致します。

以 上